

## 19 女性ギタリストはなぜいない？

### フラメンコと女性

フラメンコにマチズム、男尊女卑の問題があるかどうか、ということはしばしば話題に上がります。女性だからというので差別された、という人もいれば、私はそんな目にあつたことはないという人も。「フラメンコにはたくさんの女性アーティストがいるから男尊女卑であるはずはない」という評論家もいれば「現実を見たくない人には見えないのだ」と反論する研究者も。あなたはどう思いますか？

### スペインの女性

国会議員の41%、内閣閣僚の半数は女性というスペイン。男女同権の意識は日本よりも進んでいるようにも思います。実際、仕事を持っている女性も多いです。格差が少ない順でスペインは8位、日本は121位です。

ただし、女性の投票権や離婚、親権などは第二共和国時代(1931～1939)に認められていたものの、続くフランコ独裁政権下では、既婚女性は夫の許

可なしには仕事をすることも不動産を持つことも外国旅行をすることもできませんでした。フランコの死(1975年)後、1978年に男女同権を明言する憲法が制定され、女性の権利も認められるようになりました。独裁時代は女性は男性に従属し、家にいて家庭を守るものという価値観に永く支配されていたのです。そのせいか、現在でも妻や恋人への暴力は大きな社会問題となっています。

### 男尊女卑な歌詞

フラメンコの伝統的な歌詞にはそんな男尊女卑な時代を反映したものがたくさんあります。例えばニーニャ・デ・ロス・バイネスが歌ったソレア。

「泣いているのを見るのが好きだから／またお前をぶつ／お前の涙は巻貝のよう」

Porque me gusta el verte llorar/ y alguna vez te pego palos/ tus lagrimitas me parecen caracolis del mar

マノロ・カラコールが歌うファンダンゴはよりひどい。

「ナイフで刺した／浮気をしていたから／彼女が死んだ時／思い出した／俺も浮気してた」と

mi cuchillo le clavé/ porque me engañó con otro/ Y cuando muerta ella estaba/ de pronto yo arrecordé/ que yo también la engañaba

### 女性はギターに向かない？

女性のフラメンコ・ギタリストが非常に少ないことはご存知でしょうか。手が小さいから、力がないから、などと言われますが、本当でしょうか？クラシックギターでは女性のギタリストも珍しくはありません。

フラメンコ草創期には女性のギタリストも多くいました。ソレアにその名を残す歌手セルネータや男装で踊ったラ・クエンカはどちらもギタリストでもあったのです。内戦までは女性ギタリストも珍しい存在ではなかったと思われる。それが今のように少なく



フラメンコ草創期のセビージャのアーティストたち



内戦前のギタークラスの生徒たち



©Kyoko Shikaze, 2018

Davinia Ballesteros con Chelo Soto

オルティス・ヌエボの作品『7 Magnificas』の出演者は女性だけ。ダビニアはコルドバの音楽院に学びヘレスで教授活動中。後ろに中国出身のギタリスト、ローラ・ヤンもいます。

なったのは、ギターを弾く以外の仕事  
が理由です。プライベートの宴など、  
フラメンコのグループの仕事の取りま  
とめはギタリストが行っていたため、  
女性には任せられない、ということに  
なったのが直接の理由。女性に命じら  
れる、お金の分配をされるのがこけん  
に関わることだったのでしょ。

## 社会の鏡、時代の鏡

フラメンコに男尊女卑はない、とい  
う人に、「一体何人の女性たちが、夫  
や恋人、親に言われて、歌や踊りの道  
を諦めたことだろう」と反論するのは  
評論家オルティス・ヌエボ。ヘレスの  
歌手、ティア・アニカ・ラ・ピリニャ  
ーカが歌うようになったのは夫の死後  
でした。トリアーナ・プーラというグ

ループで晩年に大ヒットを記録したエ  
スペランサも結婚で引退していたアル  
ティスタの一人です。

## 宴にいる女性は売春婦？

フラメンコの究極の楽しみ、として  
最近、日本でも注目されている。フィ  
エスタ。仕事終わりのアルティスタた  
ちのフィエスタなどでは男だけのこと  
も少なくありません。そこにいる女性  
は身持ちの悪い女とみられることは今  
も続いています。それで、そういう場  
から家族を遠ざけようとしたのはわか  
らないでもありません。

フラメンコが他のジャンルのアート  
と比べて特に男尊女卑で女性差別的だ  
ということはなく、フラメンコも時代  
や社会を反映し、結果として女性差別

的なことも多々ある、ということだと  
思います。2020年現在、女性アルテ  
イスタたちの意識は高く、少しずつで  
はありますが、男尊女卑の価値観もな  
くなりつつあるのではないでしょう。



2002年のシカゼ

私のフラメンコ学の師匠ファスティノ・ヌエ  
スとホセ・マヌエル・ガンボア。共著も多い二人  
です。

志風恭子 / 1987年よりスペイン在住。セビージャ大  
学フラメンコ学博士課程前期終了。パセオ通信員、  
通訳コーディネーターとして活躍。パコ・デルシアを  
はじめ、多くのフラメンコ公演に携わる。